



里親登録をしている雪岡 道和さんと美代子さん、里子の子どもたち

愛情たっぷり育てたい

里親は新しい家族のカタチ。あなたも里親になりませんか？

親の病気や虐待など、さまざまな事情により、親と一緒に生活できない子どもたち。こうした子どもたちを家庭に迎え入れ、温かい愛情と家庭的な環境で育てていく「里親制度」をご存じでしょうか。今号は、実際に5人の子どもを迎え入れた雪岡さんと、市内で里親のサポートをしている里親なんでも相談所「ほっこり」の上村さんにお話を伺いました。

子ども家庭室 63・7594

5人の子どもを迎え入れた雪岡さんに 里親に対する思いを伺いました――

子どもの成長を間近で見られることが里親のやりがい

仕事ばかりしていて、人のために何かしてきたかなと思ったり、里親を始めたきっかけ。子どもを4人も育てたんだという自信もあったので、「子育てなら人の役に立てる！」そう思いました。

ただ、同居していた私の両親からは、「自分の子どもも育て上げられないのに、よそ様の子どもも預かるなんて」と反対されました。一番下の娘が高校の寮へ入ることになり、子育てに一区切りができたタイミングで、私たち夫婦の里親生活が始まりました。

今まで、5人の子どもを預かり、2人がこの家を巣立ちました。親の事情により不登校で家に引きこ

もの成長を間近で見ることができるのは、里親をしていて本当によかったなと思える瞬間ですね。

家族の温かさやあり方を思い出してもらえらるきっかけに

もり、走る体力がなくなってしまうって、走っていた子もいました。学校のサポートもあり、保健室登校から徐々に学校へ行くことができるようになった。初めての運動会の日。その子が運動場を元気いっぱい走り回っている姿を見た時に、思わず涙したことを今でも覚えています。

その子が大きくなったある日のこと。「献血がしたい。献血のイベントがあったら教えてほしい」と私に言いました。献血なら人のために自分でもできると思ってくれたようです。私が里親をしたと思った気持ちと同じだった

ので、一緒に生活している中で私の気持ちを感じ取ってくれたのかもしれない。その言葉を聞いた時はすごく嬉しかったです。子ど

るんですよ。家族愛や子どもってこういうふうな育つんだと知る良い機会になっていますね。この子たちが大きくなって、将来、自分の家庭を持った時に、家族の温かさや家族のあり方を思い出してもらえらるきっかけを作ることが私の役目だと思っています。

あとは、使命感。「私がやらなければ誰がやる！」って。両親に反対されても諦めなかったのは、使命感が強かったからなのかと今になって思います。

現在、3人の女の子と一緒に暮らしています。孫が来るとよく面倒を見てくれ



みんな本当の姉妹のように仲がいい

あなたも里親になりませんか？

里親のサポーターに制度のポイントを聞きました

☎ 里親なんでも相談所「ほっこり」 ☎ 41-1144



「ほっこり」キャラクター

私たちは、里親さんと一緒に悩み、喜びあう応援団の一人 里親なんでも相談所「ほっこり」上村 郁美 さん

里親さんは、「子どもの育ちの応援団」。私たち「ほっこり」の役割は、応援団の一人として、里親さんをサポートすることです。里親さんは、子どもの成長を見られる楽しみや喜びもありますが、子どもを迎え入れるまでドキドキしたり、一緒に生活してから

悩みを抱えることもあります。里親は一人ではできません。少しでも負担を軽減するため、私たちが家庭訪問をし、子どもの成長と一緒に喜んだり、悩み事を聞いてどう解決するかを考えたり、里親さんの支えになればと思っています。

里親制度のポイント

「里親＝養子縁組」と思っている人も多いですが、里親には種類があり、特別な資格はいりません。大事なのは、子どもへの深い愛情と大切に思う気持ち。実子がいる人や共働きでも里親になれます。

「里親＝養子縁組」ではありません

養育里親

家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭に迎え入れて養育する

養子縁組里親

養子縁組によって、子どもの養親になることを希望する里親

専門里親

虐待や非行、障がいなどの理由により専門的な支援を必要とする子どもを養育する

親族里親

親が死亡するなどの理由により、祖父母などの親族が子どもを養育する

市内で多く活躍しているのは、「養育里親」の人たち。一時保護など子どもの安心・安全を確保するときに養育里親さんが1泊2日などの短期間で預かる場合もあります。

特別な資格はいりません

STEP 1 「ほっこり」へ電話

里親制度の説明や家庭訪問を実施後、里親登録前研修へ申し込む



STEP 2 研修・家庭訪問調査

里親登録前研修や住居状況などを確認する家庭訪問調査を受けた後、里親認定申請書を提出

STEP 3 施設実習

「名張養護学園」で2日間の実習を受講



STEP 4 審査・登録

県社会福祉審議会で審査を行い、里親名簿に登録



STEP 5 子どもを迎え入れる

児童相談所が、子どもにとってどの里親が一番合うのかをマッチングします

預かる子どもは、18歳までの子ども。里親に登録してすぐに預かる場合もあれば、数年待つこともあります。

里親へのサポート

養育費の支援

生活費や子どもの医療費・教育費などを支給

皆で里親さんを応援

ほっこり、児童相談所、行政などが連携して里親さんを支援

里親同士の交流会

里親同士の悩みの共有や情報交換、仲間づくり

「ほっこり会」を開催。野外活動やモノづくり体験などを通じて、里親さん同士が交流。講師として地域の人を呼ぶことで、地域への「里親制度」の理解も深めています。



赤目のキャンプ場で交流(マシュマロ焼き体験)

里親さん・里子さんの生の声が聴ける！「里親入門講座」を開催

里親家庭で育った人とその里親さんの生の声を聴くことができます。里親さんを知る良い機会なので、里親制度を全く知らない人など、気軽にお越しください。

申込不要・参加無料・定員無し

日時 10月2日(日) 午前10時～正午

場所 防災センター(鴻之台1)

対象 どなたでも参加できます

名張ケンコー! マイレージ対象



☎ 里親なんでも相談所「ほっこり」 ☎ 41-1144

